



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism

記者発表資料

令和 3 年 7 月 1 日
福島河川国道事務所

荒川の水質が記録更新

11年連続「水質が最も良好な河川」

～令和2年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果から～

国土交通省では、昭和33年（東北地方：昭和35年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。

令和2年（1月～12月）の水質調査結果が発表（7月1日）され、荒川が11年連続で「水質が最も良好な河川」になりました。

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■全国の159河川のうち、以下の条件を満たす河川を対象とします。

- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点が2つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね10km以上で、かつ調査地点が2つ以上ある河川。

荒川：直轄管理区間延長13.0km、荒川橋と信夫橋の2地点で測定。

■各調査地点でのBOD（生物化学的酸素要求量）の年間平均値が0.5mg/l（環境省が定めるBODの報告下限値）である河川を、「水質が最も良好な河川」としています。

荒川のBOD R2：0.5mg/l（R1：0.5mg/l）

※BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水のごみを表す指標の一つで、河川水に含まれる微生物が水中のごみを分解する際に消費した酸素の量。

※11年連続での「水質が最も良好な河川」の維持は、流域の皆様の河川愛護意識の高揚、官民一体での水質改善への取り組みの成果と考えられます。引き続き、ご協力等お願いします。

※同日付で、国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表をしています。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ >>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

住 所：福島市黒岩字榎平36番地

TEL：024（546）4331（代表）

河川管理課長 たかはし高橋 たかし隆（内線331）

1. 主要河川の地点別年平均水質(東北地方整備局管内)

令和2年水質調査結果

- 阿武隈川水系荒川が11年連続で「平均的な水質(BOD値)が最も良好な河川※」となりました。

令和2年の東北地方20河川の水質状況

(単位: mg/l)

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均值
		地点数	府県名	
阿武隈川	阿武隈川	7	宮城 福島	須賀川 1.1 阿久津 1.1 高田橋 2.4 黒岩 1.7 伏黒 1.3 丸森 2.0 岩沼 1.2
阿武隈川	荒川	2	福島	荒川橋 <0.5 信夫橋 <0.5
名取川	名取川	2	宮城	名取橋 1.1 関上大橋 0.9
鳴瀬川	鳴瀬川	4	宮城	三本木 1.1 下中ノ目 0.8 南郷 0.9 小野 1.1
鳴瀬川	吉田川	2	宮城	落合 1.2 鹿島台 1.2
北上川	北上川	16	岩手 宮城	船田橋 0.7 四十四田橋 0.8 南大橋 0.9 紫波橋 1.1 朝日橋 1.3 昭和橋 1.3 珊瑚橋 1.3 金ヶ崎橋 1.3 藤橋 1.4 狐禅寺 1.0 北上大橋 0.9 北上川橋 0.9 大泉 0.8 登米 0.8 飯野川 0.7 飯野川橋 0.6
北上川	旧北上川	3	宮城	和湊 0.8 鹿又 0.8 門脇 0.8
北上川	江合川	4	宮城	轟 0.6 荒雄 0.8 短台 0.9 大深沢 0.8
北上川	和賀川	3	岩手	山室橋 0.6 九年橋 1.1 切留 0.7
北上川	猿ヶ石川	3	岩手	落合橋 0.6 安野橋 1.4 谷内 0.7
北上川	胆沢川	3	岩手	再巡橋 1.1 下嵐江 0.5 望み大橋 0.5
馬淵川	馬淵川	3	青森	櫛引橋 0.8 尻内橋 0.7 大橋 0.7
岩木川	岩木川	12	青森	上岩木橋 0.6 安東橋 0.6 幡龍橋 1.2 鶴寿橋 1.5 乾橋 1.6 三好橋 1.4 神田橋 1.2 津軽大橋 1.5 十三湖大橋 1.0 十三湖中央 2.0 山田川河口 1.8 鳥谷川河口 1.8
米代川	米代川	5	秋田	十二所 0.8 新真中橋(真中橋) 0.7 鷹巣 0.7 二ツ井 0.6 能代 0.7
雄物川	雄物川	5	秋田	酒蔀橋 0.5 雄物川橋 0.6 大曲橋 0.8 岳見橋 0.6 椿川 0.7
雄物川	玉川	2	秋田	長野 0.5 玉川橋 0.5
子吉川	子吉川	2	秋田	宮内 0.7 本荘大橋 0.5
最上川	最上川	8	山形	糠野目 1.2 長井橋(小出) 1.3 谷地橋(下野) 1.1 基点橋(稲下) 1.6 堀内 0.9 高屋 0.6 砂越 0.7 両羽橋 0.7
最上川	鮭川	2	山形	八千代橋 0.5 戸沢橋 0.6
赤川	赤川	3	山形	東橋 0.5 蛾眉橋(横山) 0.6 新川橋(浜中) 0.6

表中の<は、定量下限値であることを示す。

※「平均的な水質が最も良好な河川」
対象河川のうち以下の両方を満たす河川
・各調査地点の BOD 年平均值について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/l
・各調査地点の BOD75%値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/l (0.5mg/l: 環境省の定める BOD の報告下限値)
<対象河川>
・一級河川(本川): 直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川
・一級河川(支川): 直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川



科学的調査

令和2年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和40年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位(1月～12月)でのとりまとめを始めた昭和46年当時、BOD平均値が5.0mg/ℓを超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の27%を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和40年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和50年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、大量のアユが毎年遡上するまでになっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和40年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD値が30mg/ℓを超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、令和2年の代表地点のBOD75%値が1.7mg/ℓとなり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。



科学的調査

THE BEST
18 河川

水質が最も良好な河川 2020

令和 2 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			調査地点の都道府県名
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	後志利別川水系	北海道
北海道	尻別川	シリベツガワ	尻別川水系	北海道
北海道	沙流川	サルガワ	沙流川水系	北海道
東北	荒川	アラカワ	阿武隈川水系	福島県
北陸	黒部川	クロベガワ	黒部川水系	富山県
北陸	常願寺川	ジョウガンジガワ	常願寺川水系	富山県
北陸	庄川	ショウガワ	庄川水系	富山県
中部	宮川	ミヤガワ	宮川水系	三重県
中部	安倍川	アベカワ	安倍川水系	静岡県
中部	NEW 狩野川	カノガワ	狩野川水系	静岡県
近畿	熊野川	クマノガワ	新宮川水系	和歌山県
中国	天神川	テンジンガワ	天神川水系	鳥取県
中国	小鴨川	オガモガワ	天神川水系	鳥取県
四国	四万十川	シマントガワ	渡川水系	高知県
四国	仁淀川	ニヨドガワ	仁淀川水系	高知県
九州	川辺川	カワベガワ	球磨川水系	熊本県
九州	小丸川	オマルガワ	小丸川水系	宮崎県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	五ヶ瀬川水系	宮崎県

NEW : 過去 10 年ではじめて「水質が最も良好な河川」となった河川

【「水質が最も良好な河川」の定義】

対象河川である 159 河川のうち、以下の両方を満たす河川。

- 対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ^{※1}
- 対象河川の各調査地点の BOD75% 値^{※2}について、全調査地点で平均をとった値が 0.5mg/ℓ

※1：環境省の定める BOD（生物化学的酸素要求量）の報告下限値（0.5mg/ℓ）

※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、0.75 × データ数番号（整数ではない場合は切り上げ）の値（例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて 0.75 × 12 = 9 番目の値が 75% 値となります。）

<対象河川>

- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。



科学的調査

水質が最も良好な河川 2011 - 2020

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
(西暦下2桁)

平成 23- 令和 2 年水質調査結果



2011-2020年(平成23-令和2年)の10年で、
4回以上「水質が最も良好な河川」となった河川(18河川)を紹介します

